

# 大河原町まち・ひと・しごと創生総合戦略の施策における平成 28 年度実施内容及び平成 29 年度実施予定

## <地域と地域を連携する>

### 施策：講ずべき施策の広域的な取り組みの推進

施 策	総合戦略の施策の方向	平成 28 年度実施内容・平成 29 年度実施予定	年度	担当課
①企業誘致活動の広域的取組に向けた組織等の検討	企業誘致は、広域的な市町の経済効果、活性化効果が期待できるため、広域市町が協力した誘致活動が効果的なケースも考えられる。そのために、広域的な取組みや組織化等を協議するための場の設置を検討する。	<p>【平成 28 年度】</p> <p>特に、取組みを行っていない。町単独での企業誘致に成功した。</p> <p>【平成 29 年度】</p> <p>県主催の企業誘致セミナー(東京・名古屋)に参加(復帰)予定。情報収集・共有に努める。</p>	広域的施策 検討の場で 協議	商工観光課
②ワーク・ライフ・バランスの広域的な取組みの検討	市町村の枠を超えた企業活動に対する、ワーク・ライフ・バランス等の啓発活動は、町単独の取組みでは、社会的な広がりにつながりにくい。そのために、周辺市町に対する啓発活動の必要性に対する理解を求めながら、広域的な取組みの可能性を探るための場の設置を検討する。	<p>【平成 28 年度】</p> <p>国の助成制度の終了。</p> <p>【平成 29 年度】</p> <p>国の制度終了を受けて、町の制度内容を検討。</p>	広域的施策 検討の場で 協議	商工観光課
③広域連携による移住・定住情報サイトの設置検討	移住・定住のサイト等による情報発信として、1市町の発信より、広域の周辺状況を含めた移住・定住の方が判断材料になる。広域連携で移住・定住サイトの立ち上げの検討を行う。	<p>【平成 28 年度】</p> <p>広域連携の前に、本町の移住・定住サイトの立ち上げ予定だったが、移住・定住パンフレットを先行で制作した。</p> <p>【平成 29 年度】</p> <p>周辺の移住・定住サイトを参考にして、一体的な地域紹介を含めた本町のサイトを立ち上げる。</p>	広域的施策 検討の場で 協議	企画財政課
④広域的組織「婚活プロジェクト」の設置検討	1市町の企画による婚活では多様に企画しにくいことから、様々な職種や年齢層に対する婚活をプロデュースする広域プロジェクトを検討する。	<p>【平成 28 年度】</p> <p>広域的な取組みの前に、本町の婚活活動を進めるための準備を行った。</p> <p>【平成 29 年度】</p> <p>本町で結婚政策に着手し、周辺市町と情報交換できる場があれば共同事業を持ちかける。</p>	広域的施策 検討の場で 協議	企画財政課

施 策	総合戦略の施策の方向	平成 28 年度実施内容・平成 29 年度実施予定	年度	担当課
⑤広域ブランドによる観光物産振興の検討	観光物産の振興を図るためには、広域ブランドの創造により、全国に広告する必要がある。このブランドを「(仮称)蔵王ブランド」として、観光物産の振興を図るため、周辺市町との組織化・共同事業化について可能性を探る。	<p>【平成 28 年度】</p> <p>県南サミットや仙南地域の施策を検討する場において提案するまでには至らなかった。</p> <p>【平成 29 年度】</p> <p>「(仮称)蔵王ブランド」については、方向性を見直し必要。町独自で「特産品を活用したメニュー開発」を予定。</p>	広域的施策 検討の場で 協議	商工観光課
⑥広域エリアのウォーキングコースの設定	講ずべき施策「歩きたくなるまち」による健康増進を目的としたウォーキングコースを近隣市町と設定し合い、より魅力あるウォーキングエリアの拡大を図る。	<p>【平成 28 年度】</p> <p>広域化の前に、本町のウォーキングコースを設定。延長コースとして、柴田町及び角田市をウォーキングマップに掲載。</p> <p>【平成 29 年度】</p> <p>町内のウォーキングコースの認知度を上げ、近隣につながるウォーキングコースを検討していく。</p>	近隣市町と の協議	企画財政課
⑦環境政策を進める広域的組織整備の検討	地球温暖化、化石燃料への過度の依存など環境問題に対し、再生可能エネルギー等の環境政策を広域的に普及・促進できる組織の整備を検討する。	<p>【平成 28 年度】</p> <p>国要望・県要望として環境政策をあげているが、広域的に検討することはなかった。</p> <p>【平成 29 年度】</p> <p>県全体で推進する環境施策に足並みを合わせ、広域的な取り組みは観光連携を優先して進めていく。</p>	広域観光を 優先	企画財政課 町民生活課